京城新報

人の生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年 紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料 ▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲二號活字特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久辨一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南金六町七番地

雜錄

●使ふ人と使はるゝ人（中） 若杉翁投

今多くの場合における使はるゝ人の不平とか不滿とかを概括して例示せば凡そ左の三點にあるが如し

一 自己の技倆が主人側に認め得られざる場合
二 自己の意見が主人側に感知せられざる場合
三 他工に比較し自己の報酬が割合少なき場合

其の他不平不滿の分子は多種多樣なるも多くは此の三點の中に含まるゝが常にして第一の自己の技倆の認め得られざるに因する不平は使ふ人が其の業に精通せざるか或は自己が獨り天狗となりたる場合である。前者は主人が其の業に暗き爲め氣付かざるものにして實は無意識にて決して不平を列べる程の惜むべきものではない最も善き事に氣付かざる如く惡しき事にも無頓着なるべし、手柄の認められざるは聊か張り合ひのなきものなれども去る替り失態にも多く目が届かず咎められずして濟過することも鮮なからざるべし先づ此の邊は多少の增損はありとするもプラスマイナスで辛棒すべきものだ。後者に至りては比較問題にして小なる一局部にて自己を比較するものは自己の四圍のみ、是れ誠に小天地の比例にして若し此時に當り廣く例を他に取りて自己を研究するの餘地を見出さば自ら天狗なる事を覺り得べく却て中心大に赤面する事あるべし。第二の自己の意見が主人側に感知せられざる場合に生ずる不滿は人の好意を無にする馬鹿者めと云ふ場合にありと思ふ。元來意見と言へば四角張りて聞ねるか使はるゝ人の意見は多く忠告とか注意しる事に就て之を無愛想に刎ね付けられた、何人と雖ども餘り快よきものではない、殊に自分が眞心を込めて傭者の爲めに申出たる事なれば隨分不平も起る、此の如きは傭者と被傭者との意志の疏通を缺く原因で苟くも之を受けたる主人側即ち使ふ人は其の忠告、注意が多少誤解ありとするも兎に角全然好意に出たる事なれば最も感謝の態度を以て迎へるが至當である、使はるゝ人の注意や忠告を一々耳を傾けて聽く譯にはいかぬとするも又譯けもなく卸けらるゝ如く忠告者に感ぜしむるは策の得たるものではない、是等は主人側に立つ人が丁寧反覆して其利害を說明し斯くすれば斯々の差支あり斯くすれば斯くの如き苦情ありなど兎に角忠言者に對して十分ならずとも一應の說明をして其好意を謝するは使ふ人の利益にして使はるゝ人の氣も大に休まるものである。

外事一束

▲伊艦 二隻十九日紅海の東北端エルアカバ灣を砲擊し多くの損害を與ふと
▲華府 政府十四吋砲十門大西洋直徑二倍の航海力ある戰艦二隻建造計劃在り
▲鋼鐵 王カ氏上海革黨に米は姉妹共和國の成立を衷心より歡迎すと打電す
▲米國 官憲はテキサス州に於て墨國叛將レ將軍を捕縛し直に其退去を命ず
▲首相 アス氏本月廿七日を以て議院に於て英獨危機を說明するに決す蓋英國▲海陸軍兩省が去九日獨に對し開戰準備をなしたる秘密の暴露は英政府の▲懊惱必痛する所にして又た獨政府は之が爲め甚大なる惡感を起せるなり
▲サ國 大統領カヌレス氏暗殺者の兇手に斃るとルーター電報は報道したり
▲波斯 露國の要求に對して今後採るべき方針に關し英に哀訴し輿論を求む
▲土帝 の遣露使節親書を露西亞帝に捧呈せんが爲めに聖彼得堡に出發せり

◎新刊紹介

△外交時報（第十四卷十二號） 社說「時局と進一歩」の外重要のもの有賀博士の「革命に關する國際先例」服部文四郎氏の「最近國際金融市場と日本銀行」ヲーマン氏の「トリポリ問題側面觀」煙山專太郎氏の「加奈陀の五人男」等を收め半月外交史は例により本誌の特色此他外交上の研究資料となるべき記事を以て充さる（東京市赤坂區青山南町六丁目外交新報社一冊二十錢）

△東洋學藝雜誌 三百六十二號 本號より小藤理學博士の「長白山陰草王の黃金國」と題せられたる長白山陰を博士が親しく跋涉せられたる地圖付長篇なる記行の第一を揭け始めたり從來他人の足跡及ばざりし秘密境も博士の筆によつて世に明らかせらる蓋し地理學上一大稗益を與へしは言を待たざるなり（東京市神田區三崎町三丁目東洋學藝社一部十五錢）

△書畫骨董雜誌（四十二號） 書畫骨董に關し有益なる記事を揭げ斯界に貢獻する所尠からざる本誌は號を重ぬると共に益々体裁完備せり（一部十錢東京市本鄉區湯島三組町書畫骨董雜誌社）

△新時代（第一卷第一號） 名教中學會の機關雜誌にして本誌揭載の二條基弘公の「新時代の青年」大元學院教授の「日本帝國の青年」東久世伯の「學問の種類別について」等青年の三讀すべきものなり（一冊十五錢東京府豐多摩郡代々木村代々木名教中學會）

△靈（十一月號） 斯界唯一の雜誌演藝と教育とを結合せしめんとする本誌の抱負は紙面に躍如し記事卑野ならずして趣味あり附錄雲入道の義士講談は讀者の卷を掩ふ能はざるものならんか（福岡市外乘院本庄明倫社一冊十六錢）

新年和歌募集
勅題「松上鶴」
選者 九皐館去留



一、一人にて何首にても宜敷、用紙用鐵ロ御隨意の事、但投詠者は住所氏名御明記の事
一、締切期限來る十二月二十日
一、發表は四十五年一月元旦の本紙上を以てす

右は例年の通り勅題和歌募集致候に付同好の御方は奮つて御投詠あらんことを

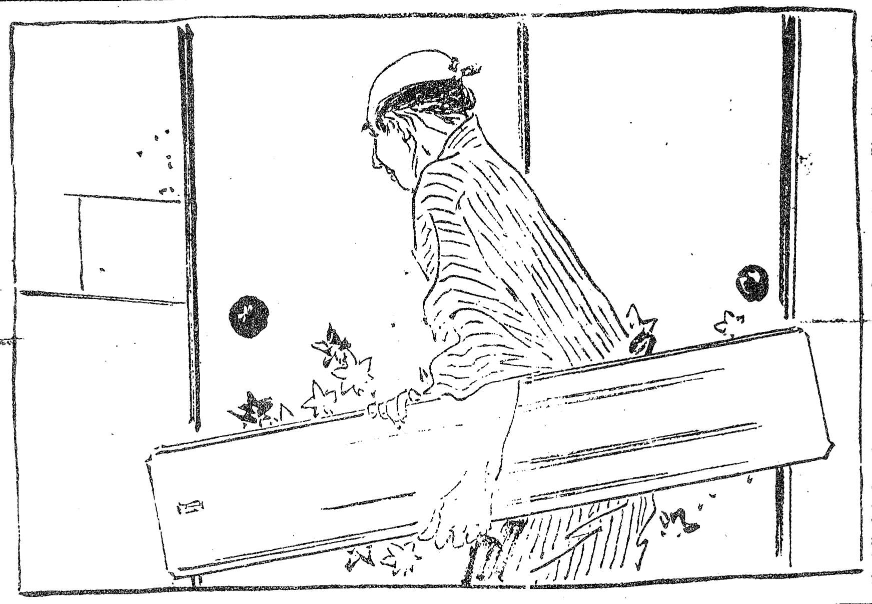
京城新報編輯局

梁川庄八（やながはしやうはち）
小金井蘆洲演

第四十三回

庄「夫から當分は逗留するのだから、乃公の宿札を出すから、四分板を一枚削らして硯と筆を添へて持てこい認めるから」上「有難い事で直ぐ持參仕ります、召上り物は如何致しますか」庄「夫はマア緩くりで宜い」上「畏りました」と大喜びで二階からドン〳〵〳〵と駈下りて 上「れ政！……偉い客樣がお泊り下すつた、福ノ神樣だぞ此れ粗末のないやうにな」政「何うれしたゝゝ」コレ〳〵斯う〳〵だと噺をすると女房も大喜び 上「何でも灯を有丈け點けろ、大きな硯を出して置てくんな、乃公は横町の建館へ行て四分板削つて貰つて來るから」と飛出して行たが軈て削らしたの持て歸つて來た 上「れまさ何せで……早く灯を點けねへんだ、間に合はねへ……夫んなら家を家へ火を點けねへ」

「莫迦な事を云でないよ」上「硯を出して置たかよまだ出さねへど、何を仕て居たんだな」叱り飛ばして大層景氣付て、硯墨筆を出して二階へ昇つて來た 上「へー遲なはりましてございます」庄「オヽ大分賑やかに成て來たな、夫れでなくてはいかん、勇氣付て結構だ」上「へエ畏りました」庄「何せヒタッと座らん、引立尻をして落付のない奴だ……然う力を入れたから墨が能く摺れる者ぢやあない緩くり摺れ……然うだ〳〵よし〳〵、ドレ書こう」と筆を取て運筆に「奧州仙臺牢破の浪士梁川庄八正國宿」と認めた、見て居た藤兵衛驚き且つ喜びまして 上「へエー旦那樣が梁川庄八樣でいらしやいますか」庄「オー然うだ」上「先達中東金の山城屋伊助方へ御滯在遊ばしまして、飯綱權現御祭禮の節に、御領主樣御抱力士鬼面山馬五郎を、一番の相撲に投げ殺して、孝行息子の難儀をれ救ひ下さいまして、れ代官樣から詫證文をれ取りになりましたと云ふ旦那樣で」庄「ウム見るに見かねて、孝行者を救つてやつた」上「へエ有難い事で……實は四五日前當御城下の旅舍が三十四軒御座いますが、寄合を致しまして、何でも梁川樣と云偉い御方が此度當地へ御入來と云事が判つて居るから、何家へ御泊りになつても、然う云方が御滯在下されば、御城中の惡い者侍衆も宜くなるし、惡い風儀も改まるに違ひない、れ泊りになつた旅舍の譽れになる事だから、御逗留なすつた家へ一同で祝物なして、其梁川樣へ緩くり御滯在を願はうと云事を決めました、所が其寄合の席で仲間の者が、上州屋さん失禮ながら奧州仙臺の御浪人樣は、れ前さんのやうな家にれ泊りになる氣遣はないかられ歸りなすつても宜うござんす、と冗談紛れに冷評されましたやうな次第で、誠に心外で



て來て家内に噺を致して殘念だから、是から一層精を出して、何うか元の通り繁昌をさせたいと思て居りました處今日御泊り下さいましたのは何よりの仕合せで、大手を振て歩行けます譯で有難う存じます、向の家を始めとして仲間中を觸れて參りとうございますが宜うござんしやうか」庄「ヤレヤレ」上「難有うございます」と大恐悦で宿札を持て降りて來た 上「れまさ……愈々大變だぞれ泊りのれ客樣はあれが牢破りの旦那樣だぞ」まア「オヤ〳〵夫は困たねへ」上「何を云やんがるんだゑ困る事はねへぢやあねへか、彼れが此間寄合のあつた梁川樣と云旦那樣だ」まア「アー然うかへ妾は牢破りだと云ふから其御方とは思はなかつたんだよ、夫は有難いねへ」上「此通り御宿札をれ認め下すつた、御造酒を上げて御燈明を供へるんだ」帳場の正面へ宿札を飾つて御造酒燈明を捧げ（切石火打鎌で、カチ〳〵」上「れまさ仲間中へ觸れて來るから」と先づ向の大阪屋へ 上「今晩は」と飛込んだ 大「オヤ上州屋さん今晩は大分れ賑やかでございますね」上「ヘン憚りながら大阪屋さん、先達奧州仙臺の御浪人梁川樣の事について、寄合の節に能くれ冷評しなさいましたね今晩私共へ其梁川樣がれ宿になりましたからね、手前共帳場の宿札を御覽下さいまし、ヘン憚りながら……實は彼の時云ほうと思たのだが、然うすれば仲間一統の人に耻をかゝせるやうな者だから、默つて居たのだ此館山へ御出になれば他の家へれ泊りになる氣遣はないんだ、實は彼の方と私共は少し引懸りなんだ、ヘン憚りながら莫迦にてれくんなさんな……

廣告

アセビリ

勸業貯蓄債券賣買の好機
現物商 京城南山町三丁目 曾野峻輔商店 電話一四〇九番

日本酒 有〔 〕限

▲診察夜九時まで▼
内科 外科 石川醫院
京城本町一丁目 電話三三番
▲入院室滿員▼

電燈諸料金値下
今般其筋ノ認可ヲ得左記ノ通リ料金ヲ低減シ來ル十二月一日ヨリ實施致候
一、定額燈料金（終夜燈）

燭力	一箇月料金
白熱炭素線	
街燈軒燈用五燭光	金七十錢
五燭光	金九十錢
八燭光	金一圓十五錢
十燭光	金一圓四十錢
十六燭光	金一圓八十錢
三十二燭光	金三圓五十錢
五十燭光	金五圓
弧光燈	
千二百燭光	金二十圓

一、從量燈料金（計量燈） 會社備電球御使用ノ場合ハ別ニ御相談可申上候
一千「ワット」時ニ付 金二十六錢
一、取附工費
屋外 一箇所ニ付 金三圓
屋内 一燈ニ付 金一圓五十錢
軒街燈 同上 金一圓
但特別ノ設備又ハ特ニ多額ノ費用ヲ要スルモノハ其都度御相談可申上候
一、炭素線電球及セード代價
十六燭光以下 一箇ニ付 金三十五錢
三十二燭光 同上 金五十五錢
五十燭光 同上 金七十錢
普通セード 同上 金二十五錢
右ノ外諸損料等總テ低減致候詳細ノ表ハ御申込次第御送可申上候也
明治四十四年十一月
日韓瓦斯電氣株式會社

内科小兒科
診察時間 自午前九時 至午後二時
京城明治町三丁目
醫學士 村上龍藏
電話六一三番

最も滋養に富む
◎ウヰンカーニス
一名肉エキス葡萄酒
京城本町三丁目
朝鮮一手販賣 龜屋
電話 二十七番 八二七番 四七五番

美術實用品各種
肥 セトモノ
各製產地新荷着
京城本町二丁目 陶器商店
電話百三十三番 振替口座韓國三三二番
官製煙草元賣捌所

紙函職工壹名入用
卅歲以下の男子にて技方一切出來得る者
但品行方正にして身元保證人を要す
京城長谷川町二丁目
鼎商會紙函部
電話九一八番

高島易斷
旭町一丁目御嶽教大教會
山の内

特約販賣店
仁川 高雄支店

手輕產兒院
入院料一日五十錢但し手傳料包含す患者の希望に因り自炊するものには一室を貸與す患者の遠近に不拘御招きに可應候
主任 產婆 三池鶴代
西部新橋通り元明治町 電話一四八九

梅毒痔疾痲病者の福音
根治的證以上諸種全治證明●姓名住所ハカキで照會者に十年來痔痲梅毒擦全治證狀寫共に報ず●長門萩山根飛亭痲病者三錢送れ痲の試藥無料進呈奏効

官許山村屋
仕出し
電話 一三九二
御料理 御座敷 大廣間あり

眼科
移轉診療
左の處に從前の通り診療致候
京城明治町三丁目本通り（東洋拓殖會社南側）
江頭眼科醫院

●荒物●軍隊用品
卸小賣
TM
京城明治町一丁目
松村太郎商店
▲地方よりの御注文は便利の方法にて御送附申上候



東京電報

●救恤金御下賜

新潟縣柏崎先般大火の慘狀天聽に達し救恤金千圓御下賜相成りたり

●驅逐艦の沒沈

驅逐艦春雨は廿三日夜伊勢灣附近に於て航行中誤て坐礁沈沒し下士卒二十名は無事なりしも艦長海軍中佐以下五十名の乘組員は行衞不明なり

●豫算案確定

明年度豫算案は廿四日の閣議に於て決定せしが大体に於て新規事業を認めず僅かに擴張費だけ一部成立し其他は悉く延期に決せり

●孫逸仙倫敦を發す

孫逸仙は倫敦に留まること一週日にして清國に向け出發せり彼は出發前其友人に向つて支那國民は良好なる中央政府を希望しをれりと語れりと倫敦より來電ありたり

●豫算案確定内容

昨日の閣議にて豫算案確定せり陸軍擴張費六年度繰延海軍擴張費は大体原案を承認し來年度の新費目は水道補助原蠶種製造電話擴張二期のみと仙臺醫學校費等四百二十萬圓復活す減債基金五千萬圓は繼續し歳出入總額五億七千萬圓と決定せり

北京特電

●斷髮の上諭出でん

資政院を通過せる曆改正及斷髮案は上諭を以て發布せらるべく其内容は官吏學生軍人は全部斷髮し商人は自由に任すべしとの事なりと

●袁内閣は瓦解か？

袁内閣は組織後日尚ほ淺きも各大臣は辭任し郵傳部大臣唐紹儀は其任に就かず爲に現内閣の前途は悲觀せらる

●政府財務疲弊

各省獨立を宣言せる結果北京政府は四方の金融途絕し各部の經費は悉く疲弊の極に達し如何ともする能はざる狀態なり

●滿人の時局樂觀

滿洲の命脈旦夕に迫まれるに拘らず武漢の陷落せば天下泰平滿人共同一致事局に當れば敢て憂ふるに足らずと滿人中に樂觀する者多し

●袁世凱の抱負

袁世凱は倫敦タイムス通信員に對し予は確實なる政府を創立し國家の分立を防ぐに努力するの決心なりこれ即ち予が立憲總理大臣として現朝を保全し權力の標準たらしめ且つ帝國の保全を確保する紐帶たらしむるを主張する所以なりと公言せり

●嫌和說沸騰

北京は朝野を擧げて嫌和說に熱中し新局面を展開するの望あり資政院は嫌和成立せざれば悉く辭職すべしと宣言せり

●正定府危し

山西省の革命軍は砲四門を有し正定府を攻擊せんとす陸軍部は姜桂題、段貴瑞に征討を命ず

●漢口再び革軍占領

漢陽の革命軍は二十三日漢口を恢復し直隷兵二千降伏せり

上海電報

●革軍と共和政府

武昌より革命黨宋教仁來り共和政府設立に關する各省代表者會議に付て斡旋の結果各省代表者は一同武昌に赴き具體的決議をなす筈にて其上共和政府建設の發表をなす事となり大統領に黄興、大都督に黎元洪を推すことゝなるべし

●軍資金を送付

長沙都督は武昌に革命軍の軍資補助として五十萬兩送附せり

●革軍と戰時禁制品

革命軍は南京に接近し會戰の期近し又湖南軍政府は豆米麥を戰時禁制品として其輸出を禁せり

雜報

●三審制度改正

確かなる筋より聞く處によれば從來朝鮮の裁判制度は三審制なりしが昨年併合の際既に臺灣に於ける現制度に準じ二審制度に改正の筈なりしも急激の變更は徒らに人心動搖を來すの虞れあるより今日迄右改正を延引され來れるが愈々今回寺内總督の施政方針に基き二審制度に改正し明四十五年度より之れを實施する事に内定しそれが制度視察の爲め渡邊高等法院長、國分高等法院檢事長は臺灣に出張したるものなりと云ふ

●明年度の鑛業施設

明年度に於ける鑛業の施設に關しては一般財政緊縮のため其經費を十分に豫算に計上し得ざりし由なるが其施設の大体は本年と大差なく農商工部直屬の事業として平壤鑛業所の無煙炭採掘を第一とし其經費を繼續支出する外何等新規着手を見ず此他本年より開始したる鑛床調査の續行等に過ぎず鑛床調査は朝鮮鑛業の發展上非常に有要なるものなれば今後尚二三年を費し極めて精密に調査すべしと云ふ

●サルチール酸防腐使用差支なし

既報の如く防腐劑としてサルチール酸使用の程度は檢查の方法に就て當局者にても考慮中の處今々實験にても内地清酒業者及び移入清酒販賣業者の苦痛を察し二十五日付總督府令第百四十五號を以て左の如く發布せられたり

清酒の製造又は貯藏に關し別に定むる所の清酒中サルチール酸試驗法に適合する程度以内に於てサルチール酸を使用する場合及び之を使用したる清酒を販賣、陳列又は貯藏する場合に付ては當分ノ内衞生上有害飲食物及有害物品取締規則中防腐劑取締に關する規定を適用せずサルチール酸に限り當分の内衞生上有害飲食物及有害物品取締規則第八號の規定を適用せず

總督府告示第三百四十六號を以て衞生上有害飲食物及有害物品試驗方法を定められし中清酒中サルチール酸の試驗法は左の如し

清酒二立方「センチメートル」に蒸溜水を和して百立方「センチメートル」と爲し其五立方「センチメートル」を内容約五十立方「センチメートル」の分液漏斗に取り之に稀硫酸（十プロセント）三滴及揮發石油（攝氏六十度乃至百二十度に於て蒸溜するもの）十五立方「センチメートル」を注加し五分間强く振盪して靜置し下層の水溶液を除去し殘留したる揮發石油を蒸溜水十立方センチメートルと共に强く振盪して靜置し茲に分離析出する下層の水溶液を内徑約一、五「センチメートル」の無色試驗管に取り之に淡クロール鐵液（約一プロセント）一滴を和し直ちに白紙上に於て上面より透視するに呈色すべからず

●藥業者聯合會の目的

既報の如く釜山、大邱、群山、仁川、開城、平壤、鎭南浦等の各藥業組合代表者十五名及び京城藥業組合員二十餘名は廿五日午後一時より會議所樓上に於て朝鮮藥業組合聯合會發會式を擧行し種々協議するところありしが其の協議の目的とするところは近く總督府制令を以て發布されんとする朝鮮藥業者取締規則なるものの内容が内地に於けると同樣のものなりとの風聞あるに對し朝鮮現下の事情に顧み今直ちに内地同樣の取締法を施行せらるゝに於ては到底同業者等の立ち行かざる事情あり且つ又右左迄の必要をも認めざるを以て同規則發布に先だち此等の事項を調査し其筋に具申せんとするにあるが如し

●土地調査と都會

…土地證明遲延の一原因…

總督府土地調査局にては本年三月より向ふ七年八ヶ月の豫定を以て土地調査に從事し將來着々として進捗しつゝあるは喜ぶべきことであるが、併し右調査の方法たる都市及び其の附近を後廻はしとして人煙稀薄なる邊陬の土地を先にしるの觀あるは聊か以て不審に堪へぬ昨年十二月商業會議所朝鮮聯合會に於ては右調査に關し決議の末當局に建議したことは世人の既に知るところであるが其の建議書の一節に「此際地方の事情を參酌し其の緩急を圖り人口の稠密なる產業に乏しき商工業の發達せざる地方邊陬の地域は之れを後にし最も利害關係多き都市及其の附近又は土地經營者の多き地域を先にし急速に着手完結せられんことを望む云々」とあるに之れ要するに之れが調査の遲延は即ち地籍及所有權の確否に關し延ひて内地人の投資經營其の他朝鮮開發上至大の關係を有すること言ふ迄もない然るに當局者は何の考へあるところあつて右の建議を容れながら爾來實行せずに却つて邊陬の地域調査を先にするやの觀あるは不思議のいたりに堪へぬ好例は眼前に在り此の間から問題になつて居る京城府廳の土地證明遲延の如きも其の實は未調査の分多く從つて土地臺帳を作用する由なきが故に斯く遲延を來し延ひて世間の攻擊を受くることゝなるのである敢て當局の辯明を仰ぎたいと某實業家は語れり

●移入藥品需要

朝鮮藥種業の現況に關し當地新井山岸兩商店主の語る所に依れば朝鮮内地に於ては今日と雖も未だ醫療に不便を感ずること極めて多く自然賣藥の歡迎さるゝこと甚だしく其他市街地と雖も亦依然賣藥の需要多し有樣なるが其の種類は内地移入品十中八九を占め他は鮮人製造の不完全極まる藥品の無智なる鮮人間に行はるゝものあれど此等は時世の進運に連れ漸次其跡を絕んとするの傾向を示しつゝあり且つ近く發布さるべき賣藥業者の取締規則の如きは鮮人製藥業者に對しては極めて富を得たるものゝ如く其發布の曉には恐らく効力なき鮮人製藥業は自然消滅を來すべし而して現下日本賣藥品一年間の移入額は十万圓内外にして此等は殆んど當地新井商店の手を經て朝鮮各地に仕向けらるゝものなるが其の日鮮人を通じて最も賣行の好きは淸涼劑を第一とし胃、腸、血の道、眼病、黴毒用の藥劑と云ふが如き順序にして即ち仁丹、太田胃散、中將湯、毒滅、大學目藥最も歡迎せられ其の日鮮人に對する賣行割合は日人十中八九を占むと又た洋藥は醫療器械を合せ移入商山崎商店のみにて十萬圓朝鮮各地移入總額は六十萬圓以上に上るも工業原料としての洋藥の需要未だ盛ならず其の多くは官衙醫院等の使用に係り現に山岸商店に於ける實行狀況に見るも官衙と日本人各醫院とが其の移入品の二分一宛を使用し朝鮮人は開業醫と雖も製藥原料として洋藥を使用するものは極めて少數なりとて唯朝鮮各地の日本人賣藥業者は顧客の希望に依り極めて簡易なる藥劑に限り調劑投藥することあれども勿論危險の程度には自ら立ち到らざる樣注意を加へつゝあれば此際餘り嚴格なる制合を發布せらるゝが如きは却つて時宜に適せざるやを思はしむ云々

●半島向絹布移入計畫

淸國動亂のため從來兩淸地方より朝鮮に輸入したる絹織物類は今後支那動亂の長引くにつれ自然輸入の大減少を見るべきは無論の事にして現に當地にて品薄となりをれる傾向あるを以て此際我内地產の絹布を移入せしめ淸國產を壓倒するを好時機なりとし當局者に於ても研究中なるが先般京都の朝鮮觀察團員中織物業者のありしを幸ひにれが移入方針奬勵をなしたるも何分京都にて製織する絹織物は高等の種類に屬し直ちに之れを朝鮮に移入するも需要の點に於て到底好果を收むること難かる可く寧ろ甲州、八王子、米澤產のものを半島に移入せば價格に於て支那織物と匹敵するを得べき柄に於て半島向きのものを作らすんば是れ亦競爭なし難きを以て該產地に支那より輸入しをれる品柄の見本を送りて之と同樣のものを製織せしむるが得策ならんとの事にて目下手配中なりと何京都の

●絹織物業有望

半島に於ける絹布類の製織業者は實に微々たるものにして僅かに京城の美術品製作所が小規模に此業を營みをるに過ぎざるが昨今蠶業の奬勵に伴ない蠶繭の產出額非常に增加したるを以て製糸業も自然發達す可く該製糸を原料として絹織物業の今後此らざる可からざるは必到の數にして且又半島に於て絹織物の製織を起さんか蠶業稅消費稅運搬費等にて到底内地產は之と競爭し得ざるべく現在にても美術品製作所の織物に比し内地產の價格は遙かに上にある次第なれば將來朝鮮にて絹布の製織せらるゝ事となれば約三四割の利益を見るに至るべしと當地有力なる織物販賣業者は語れり

●淸國暴動と平北の影響（二）

……度支部第六回調查……

△輸入品　一般に革命亂の影響を受けたること未だ現はれず石油木綿の如きは日淸兩國人より輸入さるゝを以て營むべからざるは言ふ迄もなきが昨今の差たる處ころにては移住地及び其の附近に之れなき淸人の取引阻害さるゝ位にて人民一般に樂觀しが機關は一般に其の方法既に設けあるが衞生を以て唯淸國特有の緞屬（絹物）は稍々强氣を呈して騰貴せり

●△貨幣

一般に影響を感ぜず當地方は淸國小洋錢の流行地域なれども淸國紙幣の流通は一般に人民嫌忌するを以て行はれず錢票も流通を見ず亦人民は日本官憲の保護確立し居るを以て不安を感ぜざれば安東縣に於て支那人が正金銀行に正貨の保護預けを爲すが如き影響は絕てなし要するに淸國動亂は貨幣上に於ては迄も影響を見ざるが如し朝鮮銀行券の流通は淸國紙幣不流通の爲め寧ろ影響なし唯本道人民の智識低きため銀行券の形体屢々變化するを以て銀行券よりは補助貨にても正貨を好むが如しされども此の傾向は漸次薄らぎつゝあり

以上要するに大体に於て滿州に於ては動亂未だ顯著ならざるを以て之れが影響甚大したる事なきも革命亂の永引き且つ滿州に蔓延するに到りては其の影響するところ蓋し尠少ならざるべし（完）

●道路工事現況

本年度總督府直營新規計畫に係る各道道路工事の現況を記せば左の如し

淸津會寧線の内（一部着手他は施工の準備中）城津惠山鎭線の内（踏査中）平壤元山線の内（一部實測中）海州龍事線の内（一部施工他は實測中）利川江陵線の内（一部測量設計中）順天全州線（一部施工準備中）淸州陰城間（同上）晉州南州線の内（同上）

●朝鮮煙草會社總會

既報の如く朝鮮煙草株式會社にては十日東京商業會議所内にて創立總會を開きる創立費金七千四百六十六圓並に重役費賞與金を七千圓以内と定むる事及資本金百五十萬圓を百十萬圓とする件を附議したる處滿場一致可決し終に役員選擧を行ひし結果左の諸氏當選せり

▲取締役　杉原榮三郎、稻茂登三郎、酒井静雄、鈴木小衛、松下牧男、脇田勇、根津喜一郎▲監査役　大村保太、里見漢正、佐藤定次郎▲相談役　淺田正文

●酒釀組合の總會

京城及龍山に於ける各酒釀組合は二十七日午後一時より壽町商業會議所に於て臨時組合總會を開く筈

●質屋組合總會

來る二十九日正午より京城及龍山の各質屋組合取締池田長次郎氏外二十余名は壽町同業會議所に集會し總會を開き過般發布されたる利息制限令に關し協議すべしと

●東拓移民地と衞生

東拓會社にては將來移民募集の回を重ね移民の數增加し從つて之れが移民の各道に亘つて分布さるゝに於て敎育衞生宗敎等に就き之れが機關の完備を期せざるべからざるは言ふ迄もなきが昨今のところにては移住地及び其の附近に之れなき所多くは言ふまでもなく而己ならず敎育機關が機關は未だ其の方法既に設けあるが衞生を以て機關を追々完全を期し今後の移住地に

●仁川商議定款改正

仁川商業會議所にては既報の如く總會の決議を以て明治四十五年課金徵收方法及定款改正の件等に付き其筋に認可申請中の處去る二十四日付認可せられたり

●米國視察團一行

米國鑛業視察團の一部五名及び世界漫遊團の一行七名は既報の如く二十四日午後八時ケクナル氏引率の下に南大門驛着入京ツンタクホテルに投宿したり因に鑛業視察團の一行は二十六日朝宮地發日本内地に向け世界漫遊團の一行は來る二十七日當地發滿洲方面に向け出發すべしと

●京畿道の戶口數

京畿道調査に依れば管内に於ける日人一萬六千六百三戶に對し五万八千三百三十一人鮮人二十九萬七千八十八戶に對し百四十一萬千三百五十六人外國人千二百四十五戶に對し五千百九十五人なりと云ふ

●滿鮮兩鐵無賃乘車券

滿鮮兩鐵の無賃乘車券發行の件は過般來總督府鐵道局並に滿鐵會社間交涉結果總督府より發行するものは各發驛より安東縣返の又滿鐵よりするものは發驛より新義州迄の區間を限り發行する事とし夫れ以上は更らに安東縣迄又は新義州より相當證明書に依り乘車券を發行することに確定せる由なり

●限本有何氏の出張

本日三週間の豫定にて北鮮地方學校狀態視察に向ふ筈

●仁川諸官衙會計檢査

總督府會計局員は二十五日仁川に出張二十七日まで三日間同地官衙の會計檢査を行ひつゝありと

●各授產場主任の集會

京畿道管内各授產場主任は二十七日より道廳に集合し明年度事業計畫及び各期間に於ける各授產事務に關して協議をなす筈なりといふ

●村田農商工部技師歸任期

歐米出張中の農商工部技師村田素一郎氏は二十四日歸朝更に一ヶ月間請暇歸省の上明春歸任すべしと云ふ

●平安南道の降雪

平南德川、份川兩郡境界の愛日嶺附近は近來氣候劇變し降雪甚だしく去る十四日には積雪尺餘に達したりと云ふ

●總督府有土地處分

總督府所管京城市内に於ける土地及び家屋は一般個人より之れが貸下方を希望するもののあるも一切個人には貸與せず但し公共的性質を帶びしものには事情に依り貸與する由なるが夫等は至つて稀なるを以て事實現在に於て貸與せるものは極めて僅少なるが要するに右は將來京城に於ける道路擴張及び市區改正につれ何れかの方法に依つて處分するべく夫れ迄は現在のまゝとなし置くべしとのことなり

●氷山風穴と蠶種貯藏

慶尙北道氷山風穴は朝鮮唯一の風穴にして四十一年度農商工部小賀技師によりて發見せられし以來蠶種貯藏の適否に就き試驗中の處各道原蠶種製造場等よりの依託蠶種二千枚の貯藏結果は稀に見るの好成績を示したりと同風穴は夏時八月末に於ても華氏四十度以下を保ち溫度も常に九十度以下に在り未だ一日だに潮和狀態を來たせることなしといふ右の試驗により取扱上周到なる注意を以て爾後無料貯藏の依托に應ずべく各道廳へもそれぞれ通達せりと

公人私人

▲岩瀨靜（大邱會頭）二十四日巴城へ
▲小濱爲五郎（安東新聞社々長）二十四日旭旅館へ
▲增田光平（同上理事）同

▲京城手形交換高▼

十一月廿五日　一三五、五〇六、八一〇　金高　五五二　枚數

▲治外法權▼

昨本紙着電の如く西園寺首相は豫算方針に關し廿三日陛下へ奏上を了つた、之れで過日來紛々を極めた難問も一ト先づ片附いた譯だ▲ダガ片附かぬは前閣系の胸の中オノレドウするか見て居れ、イマにくハナの共和問題でブツ倒してヤルぞ、ヵんで居る▲が、併し外邦の政体變更の問題で、内閣の倒された實例は世界中ドコを探しても無い、サスレは現内閣はマア〳〵安全と云はふか▲革命軍の奉天攻擊が愈々始まつたとの事だ、コウなつては例の趙總督の强よそうな言葉もモウ無効だ、南無阿彌陀佛生苦提▲過日來本紙の問題となつた、府廳の土地證明の遲延も、此頃はドウヤラ少しづゝは運ぶとの事だ、由來本紙は府廳のみを責むるものに非ずアノ判らず屋の總督府が府廳の豫算を增さぬのをも責むるのだ▲併しドウヤラ風向きが變つて來て、府廳來年度の豫算は本年度よりは多くするとの事、ソウなりや民間の苦情も自然消ゆる譯だ▲警務總監部の山形中佐が大佐に昇進した、此人曾つて乃木將軍に從つて臺灣の風紀改善に働く、されはこそ其正直で廉潔に於ては凡々の憲兵者流を拔く▲サテ大佐になつた山形は依然總監部に居るかドウか、而るに轉遊說あり、彼れ近々他に轉ずべしと、若し之れが本當なら明石は智惠囊を失ふ譯だ▲商議會頭の採擧は愼重になせよ、風聞あり、某、會頭をチラウと、果して實現せんか、會議所の價値は零となならん。



●悲劇二人女房

▽欺されたる精養軒のれ米
▽涙ながらに京城を去る

旭町の善美家、云へば彼の京城遊廓の富金樓の大盛奥村千里が玉家の娘衣の辣腕にかゝり引つ絞られた宿坊として紹介せられし以來誠切り名前が賣れたれ家なるが主人の木村と云ふは獨身者とて客様と藝妓衆、帳場と染次なりが巫山戯たりれ巫山戯になつたり狂つたり狂ひなさつたりするのを見聞く度に溜息つく〳〵獨身者の不自由を感じては見得も外聞も關つて居られず恥かし乍ら拙者近來遠かに女房が欲しくなつた就ては憚れとも思召し男一人助けると思召し相當なのがあつたらた世話を願ひ奉ると上は稲荷様から天照王尊下は出入の車夫、雑貨屋の小僧戸籍調べのれ巡査さんにまで頼んで置いた功空しからず此頃に至り玉家所の自前藝妓三八は座りたい大阪生れの悧巧者少々温和し過ぎるかと思ふのが玉に疵だが何樣だか夢枕に立たせ玉ひ掻消す如く失せ玉ひたる跡で眼を覺まして枕頭を見ると金線の三八の名刺が落ちてある其翌の樣子に木村君信心所に飾し早速玉家に直談判と出掛けたおに三八曰く私如き者を夫程迄に仰云つて下さる事勿体なくは御座れど内地に兩親があり之れを養ふて行く姉が目下危篤ともあれば都合に依つては今夜にも歸らねばならぬ身分てムんすから麼うか要と思つて精養軒の仲居のれ米さんを持つて遣つて下されとの話なりしが如何に急げばとて顔も知らぬ女ではと二の足を踏んだのを見た三八御光もな次第と早速同道して精養軒にて實物を見せ〳〵に一も二も無く氣に入つて終ひ直ぐにとの事に三八も餘り忙しないとは思つたが芽出度事とて同じ軒の仲居れ糸及三八の媒酌にて婚約成立に及んだのが本月十日頃の事なりし木村の喜びは元よりれ米の喜びは一層にてモウ善美家の女將になつた氣で居たるは然もあるべし然るに其後夫とは知らぬ頼まれ連の一人何某が木村に向ひ白水にれ常と云ふ仲居が居るが彼れなら上等だせと知らせたるに見る丈けならと見たのが因果れ米よりは三四段方上等なりしにぞ此とも婚約を成立した、とは知らのれ米は三八とれ糸を急かし立てゝ正式なる婚約の成立を迫るに木村も今更後悔し近々此れと結婚式を擧げる氣に成つたと風の便に聞いた白水のれ常は柳行李を擔夫に負はせて押し掛け女房不知火旅館の主人を仲人に假結婚式を擧げたのは去る二十日の夜なり斯くと聞いたれ米は三八に對し其不都合を責め面目なしとて內地へ歸つて終つたが三八は一人に怨みのあるものか無いものか思ひ知らして呉れるからと斷切をして口惜しがつたれ米に同情もし申譯もなしと病氣に罹つて居る相だが可愛相な事かな

●虫の好い堀內實（二）

▽違約金五千圓の請求

鄕里名古屋に堀內を訪ひ同人の意志計畫を聞き取りて歸城したる吉田米吉は歸來三好氏に對し堀內は和樂園稲荷神社の下に於て約六百坪の地所を撰定すべければ三好氏は該地に料理店及溫泉等に適當なる家屋を建築し、十年間契約にて賃貸せられたしとの希望を有する旨を告げたるが超えて三月下旬堀內は名古屋建築會社の技師にして同地入勝館の建築を設計監督したりと云ふ高橋浅次郎なる人を伴ひ來城し旭町一丁目の三好氏貸家に寓居を定め數日後吉田米吉と連れ立ちて三好氏を訪ひ前陳の希望を陳述せしが當時三好氏は堀內と只一面の識のみなれば巨額の投資を要する工事の事とて諾否に躊躇し居る時しも堀內の實弟にして三好氏とも親交ある當時濟國醫口に居住せる齋藤富次郎氏が偶然にも仁川に來り居り兄堀內が三好氏と土地家屋の貸借交涉中なることを耳にせしより三好氏を訪ひ話し序に何分ともにその話に依り三好氏は玆に初めて堀內の身分等の幾分を知ることを得しより交涉は稍々進行し契約締結と同時に堀內より敷金三千圓を差入れしめ以て家屋建築設計圖面の調製まで運びしとき三好氏は堀內とも相談の上其設計圖の調製を前記高橋浅次郎なる人に依頼せしも意に充たざるより三好氏は中川伊之助なるものに設計を依托し出來上りたる圖面に依り土工建築に着手したるが一方堀內は營業許可を出願し本夫に於ける金城館の取片付に從ひ七月二十六日當地に歸來したる時は既に堀內實の人と爲が判明し居り、料理店營業は不許可に決定し願書は却下されたるなりき玆に於て狼狽したる堀內は更らに既定の設計變更を三好氏に申込み八月十八日其承諾を得て之れを民團及警察に提出し俱樂部として營業の許可を願出たるも又不許可の指令に接したるが共れさへ知らの三好氏に萬一堀內の營業許可にして全然認れざれば多大の損害を蒙るべきを以て契約の立會者水野源に依りて未だ營業許可せられずと云へば一旦工事を中止し先づ許可の指令を得來春四月頃開業する樣せられては如何實は自分も多額の資を投して建設したる曉堀內氏の營業不許可と決せば多大の損失を招く譯なればと談合せしに水野は大に其意を諒とし堀內に其旨を通じたるに彼れは顏色を變して近々營業も許可されべく既に料理人等も來城する筈なれば三好氏の言に應ずる能はずと返答せり盖し三好氏の意は堀內の營業不許可に終らんかを氣遣ひたるにあれば此返答に依りて大いに安心し工事を進行しつゝありしも猶不安に堪ね兼ね十月一日附營業許可を得べく取急ぐ旨の移牒に接したる堀內は二日附書面を以て營業不許可と決したる當時必要無き土工建築の全部を十月八日迄に完成し引渡すべしと迫り其返答を促すの擧に出でたり（つゞく）

●娘の婿を誣告す

▽姦婦が親の不心得

一般鮮人間には他人を誣告して快とする者多き由なるが彼の竹園町小栗榮吉の妻くにを殺したる犯人なりとて他人を誣告して其の筋に告訴されたる事件を記せんに南部五將洞五十八統九戶鮑番業張斗星（五十）は娘龍禮を一昨年陰十一月頃東大門外華溪洞居住崔卜吉の妻に嫁せしめたるに家計裕ならざるより龍禮は崔と同棲する事を厭ひ昨年十二月二十日頃實母の誕生日を口實に歸宅し本年十月夫崔より訴へられしため不得已復歸したるが是より以前龍禮は實家に駐宅中朝鮮步兵隊步兵卒朴點與と情を通じたるより崔と離別して朴點興と改嫁させて吳れと娘より賴れたる張斗星は親子の情に驅られ龍禮を呼戻さん目的にて當時小栗榮吉の妻くにの殺人犯人搜査中なるを奇貨とし犯人は崔卜吉なりと其の筋に密告したるより崔は其の筋に拘引せられたるも取調の結果放免後同人より誣告罪として告訴され京城地方裁判所に於て懲役二年に處せらる

●淸人强盜の就縛

▽出刃を閃かして强盜

清國山東省生當時住所不定方照盛（二八）同譚孟省（二八）の兩名は先頃來仁川に入込み來り去二十一日夜兩人は共謀して仁川多所面禾洞竹筐里淸人閔成賓方に闖入し金品を强奪し逃走したるが方照盛は京町派出所の山田巡査能巡查補の爲めに二十二日夜京町淸人某居に潛伏し居たる處を逮捕されしが譚孟省は二十三日朝仁川を發し朱安方面に逃走中此又同巡査の爲に取押へられ二十五日檢事局送りとなる因に前記方照盛は曾つて仁川に於て出刃庖丁を携へ婦女を脅迫し强姦を恣にし仁川監獄に收監され去十月十日出獄したる前科者なりと

仲居評判記

松葉亭のれ春

藝妓衆のれ噂は事珍らしくもなし稀には仲居衆の評判も聞せて吳れとの御注文に從ひ第五番に披露仕るは此の子生れは讃岐さんで名高い兵庫だ相で當年取つて三十と二、仲居としては是からが働き盛りである、ヨボラ〳〵した所却つて氣が置けないで好い、仲居藝妓の餘りに取澄したる人力車が泥峴街を驅け出した樣にガラ〳〵した所却つて氣が置けないで好い、仲居藝妓の餘りに取澄したるは山葵なしの刺肉同樣面白くも可笑しくもない、れ酌をして貰つてる間も何だか斯ら親類の娘か友達の姿君の前に座つてる如な氣のするものだが此れ春さんは如法の話好きな酒好きな女である、デツプリと肥り肉、ヨツコン出た齒を氣にして隱す顏色が見つて愛嬌になる、主人が淡泊だから藝妓でも仲居でも皆此頭り淡泊ですとれ春自身が保證して居る、私どもの藝妓衆や仲居衆の血色の良いのは樓の主人が副食物の美味のを興れるからです、と堅肥りの腕を叩いて威張つてるのもれ春自身である十圓れ使になる方でも二圓れ使になる方でも同じに取扱ふ所が何より嬉しい、併し若し夫れ藝妓が時稔で仲居がれ客とむつた時は盃をれ廻しにすらぬ如に心掛けられたい、然らずんば二人とも好い氣になつて飲む時は先づ五升仕事、夫れも少々でも醉つた風でもすれば格別、代り番に便所へ通つて「今夜は麼うして斯うれ小便が近いんだらう」

●僞造銀貨發見さる

▽注意が肝要なり

西部盤石坊鉛洞十二統十戶果物商張熙謙（二三）方に二十二日並井洞の趙國濟なる者が買物に來たり持ち歸りたる剩錢の五十錢銀貨が僞造貨幣なること發見し西大門分署に屆け出でたるが張は何沼從中より出だしたるものにて行使者不明なれば其僞引取らせたるが該銀貨は鉛と錫とを混和せるものにて一見僞を判別し難きまでに精巧なれども彫刻不鮮明にて光澤淡しと兎に角一般注意が肝要なり

●冲津等の豫審決定

▽愈々起訴せらる

既報の如く仁川水產株式會社專務取締役冲津戶十郎（六〇）同社會計芹川傳造（一三）の兩人が本年一月十九日より十月十五日に至る間に於て被告等の保管に係る社金二千六百九十七圓五錢八厘を橫領費消したる事件は爾來京城地方裁判所仁川支部四位豫審判事代理の手にて審理中なりしが二十四日豫審終結不日公判に附せらるべし

●猩紅熱益々猖獗

▽龍山署の檢病戶口調査

新龍山鐵道官舍六十八番戶ノ一鹿野明（三六）は廿四日より猩紅熱に罹り龍山同仁病院に收容せらる次に舊龍山桃山町三十六（三十七合戶聞屋國武德吾妹ひさね（十七）も二十日より同病院に罹る舊龍山に於ては二十三日より龍山署にて檢病戶口調查を始め極力警戒中なり

●大川藤吉郎の餘罪　原籍千葉縣竹葉町大川藤吉郎（十九）が到る處旅館荒をなし仁川署に捕へられ取調中なる事は既報の如くなるが尙彼は本據に於て停車場の旅館井上自然方にて同宿の鑛商の島尻寅吉外二名の衣類時計等價格百四五十圓を窃取し開城に逃走し同處にて入質し費消したる事實自白せりと

●博奕は打ち尻は打たる　南部倉洞二十二統九戶朴日文（二六）は二十四日午後九時頃賭博の現場を檢擧され笞刑五十に即決

●取消申込　左の如く取消申込ありしに付全文を揭載す因にみちは中根を相手取り傷害の告訴を提起し居る由なれば精探の上報道すべし

記事取消申込書

謹啓貴社益々御隆盛奉賀候却説本月廿二日御發行の貴紙第八百二十五號三面雜報欄に『私は只今殺されます』（周章者と手紙と短刀）と題して御掲載相成候記事中京城郵便局員吉谷勇吉が中根方に下宿し居たる内自分と怪しき交情となり夫れが爲め中根の怒りを招き短刀を以て自分黑髮を切斷せんとして手元狂ひ自分顏面に大傷を負はしめたり云々と有之候も自分が中根方に奉公中同家に吉谷氏が下宿し居たる事實毫も無之而己ならず吉谷氏は諸機械の使用方法研究の爲め中根方に屢々往來したる事あるも情交等はおろか只面識ある位の事に止まり言語を交へたる事すら無之候も自分の兄及び國元の父の元に吉谷氏より結婚の申込に有之候も未だ之に對する回答も致すの運びにも至らざりし次第にして其際不計自分等を斯く醜關係ありたりとの誤解を招き誠に迷惑致居候間此全文を掲載して該記事御取消被下度此段及請求候也

明治四十四年十一月廿四日
仁川港濱町三丁目金村方
荒木郎方金村みち　印
京城新報社御中

日曜集會

●メソヂスト教會（旭町一丁目）　二十五日夜七時より英領加奈陀トロント市に於て開催の萬國メソヂスト大會へ出席したる東京青山學院長小方神學博士の歐洲視察談あり廿六日は午前禮拜說敎同夜七時より傳道說敎あり辯士は何れも小方博士なりと

●京城基督教會（相生町）　同教會にては二十六日午前十時半より渡瀨牧師の禮拜說敎「救濟の眞意義」あり夜七時より傳道說敎「新らしき生涯」ありと

●曹洞宗別院（若草町）　二十六日午前九時より北野元峯禪師の碧巖錄提唱ありと云ふ參聽隨意



●演藝だより

▲壽座　雲柳一行廿六日の藝物は花園雪は前夜の續きにして雲柳は「堀部安兵衞生立より婿入迄」の長講三席なり

▲浪花館　三遊亭若遊三一行當踊手踊

●在監囚徒の一日

（一）▽一日の賄料タッタ七錢

晩秋初冬陰雲空を蔽ふて今にも降り出ださんとする昨日の午前暗い冷たい牢獄の裡に座する憎むべくも亦憐れむべき囚人の生活狀態を覗んものと鐘路裏通りの京城監獄拘置監に天野看守長を訪ふた處が上官の許可を受けねば誰れぬとの尤も話しに更に獨立門外亞鉛屛に圍まれた京城監獄の富山典獄に刺を通じたが生憎く繁忙との事で中村看守長の部屋に通されて聽き得たる概略を左に記す

▲囚徒の半數は强盜　京城監獄は三個所に分れてゐる即はち獨立門外の本監と西大門出張所及び鐘路の留置監である本監には鮮人男女總數千四百五十一此の中女囚五十名外に日本人囚が臨時に七人居る大概に一年半以上の受刑者と幼年囚で西大門には同じく六百名鐘路には刑事被告人淸國人等一年以下の輕罪囚が四百名居る四人中大多數を占めるのが强盜で本監と西大門と千百八十名次が窃盜其他である

▲一坪に平均七八　監房は六棟二百餘坪の木造亞鉛葺で一坪に平均七人這入つてゐる譯になる監房が頗る狹隘なのにドシ〳〵囚人が增加するので工場の一部迄も使用してゐる狀態で目下增築に着手してゐます

▲朝は六時、夜は八時　昨今朝は六時三十分に起こし食後三十分程休ませて作業に着手する作業時間は先づ八時間です夜は八時に就寢させますと云ふア、作業が了つて夕食後各自の監房の薄き疊敷の上に端坐して過去の歡樂の影と痛苦の味さては故郷の兩親妻子兄妹等を想ひ火の氣の無い闇い冷かな一室に良心の叱咤に改悟の涙に咽ぶを想ふては一掬の涙を濺がずにはゐられない（つゞく）

廣告

◎恩給　年金長期契約即時立替
今般右營業開始仕利子手數料破格大勉强にて懇切且つ迅速に取扱可申候
京城櫻井町八四　山口屋

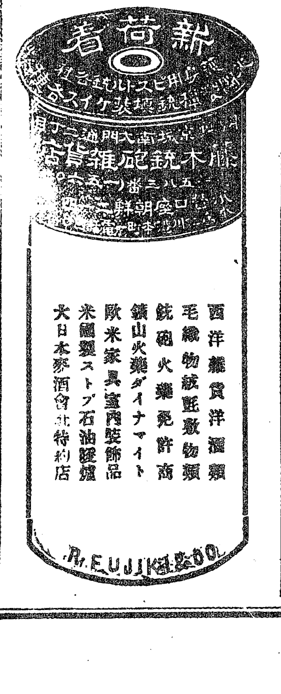
競賣廣告
京城本町七丁目九十一、二番戶
一木造瓦葺二階建　壹棟
二階十八坪七合、階下廿五坪三合
一同本町七丁目九十三、四番戶
一木造瓦葺平家建　壹棟
建坪十七坪九合六勺
一同本町七丁目九十五番戶
一木造瓦葺平家建　壹棟
建坪十八坪七合
右明治四十四年十二月六日午後二時右家屋現場に於て入札競賣に附す
明治四十四年十一月廿日
京城長谷川町二丁目三十八番戶
酒井破產管財人　皆川廣濟

●東京●十字社病院本部看護科卒業
●日本赤神田水原產科婦人科病院附產婆學校卒業
●東京醫學博士紳產科婦人科病院產婆研究
●東京府免許產婆
●妊婦產婦親切に取扱可申候
京城太平町通一丁目取次電話一八〇二
產婆　若山ちう

土地建物鑛山株券賣買
小林藤商店
一市內宅地買渡たし
一市外田畓山買受たし
一鑛區權利讓受たし
一恰好なる住宅貸物あり
一有望なる未墾地權利讓物あり
一電話讓物あり
京城明治町二丁目　電話六五五番

▲支店設置廣告▼
京城市內の土地又は家屋に對し一時低利御融通申上候
◎多田不動產信託所は
土地家屋賣買と其金融に並貸家管理受託
既設未設電話賣買讓與
質屋營業は制令の金利により便宜御貸出し可仕候
京城太平町一　東側橋　電話二三一番
多田不動產信託所
同質屋業　多田次平
同支店　同相生町南大門通京城寫眞館裏　主任　渡邊拾吉
當所の貸地南大門外約五千坪御借貸の上月賦建築可仕候
▲支店設置廣告▼

弦齋流割烹
す津祢
南山町一丁目
電話千五百二番



西洋雜貨洋酒類
毛織物絨氈敷物類
銃砲火藥免許商
鑛山火藥ダイナマイト
歐米家具室內裝飾品
米國製ストーブ石油暖爐
大日本麥酒會社特約店

今二十六日より三十日まで五日間
第一回繪畫展覽會
右紀念の爲め未曾有の安價大賣出し
見切品つり切澤山
京城本町五丁目
山枝呉服店
電話二二四番

●諸公債諸株券
現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
諸業
京城本町三丁目
大阪野村德七代理店
田中友吉商店 電話九九三（ク）

開店
◎食料品雜貨
◎薪炭 和洋 鑵詰
朝鮮駐箚憲兵隊司令部 李王職 御用達
京城明治町二丁目南入
高橋兄弟商店
▲多少に不拘御用命次第速刻持參可仕



飲めば氣持よくなる
消化と毒けし
必ず懐中せよ
何人も
代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
電話九〇四番 一〇六八番
振替口座 京城 十六番

三十世紀の新藥

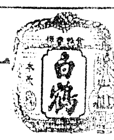

最良新藥
月經不順
▲月經をつうじ子宮病を全治す
月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病、血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上强く等の病を根治し、血のめぐりを能くす
▲定價 二日分 八錢 一週分 廿五錢 二週分 四十五錢 三週分 六十錢
常に月經異動ある人持藥とせば毒血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良藥也
本舖 大阪心齋橋 丹平商會本店
支店 東京日本橋 丹平商會支店
▲賣捌 其他各市内 其他各店に取次す
代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
電話九百四番 千六十八番
振替口座 京城 十六番

最上白毛赤毛染
東京 服部松榮堂

食料品薄利多賣
紀州みかん
▲隔日着荷 多數御注文に可應候
京城南大門通朝鮮銀行前角
川西商店
電話一三六七番
振替 京城一番

英國セフヒールド市 シーボムアンドデイキンスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑪各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處清鮮地は材料鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
京城本町五丁目
和洋金物商 釘本藤次郎本店
（電話四五番）電信略號「ク」振替貯金口座京城二五六番

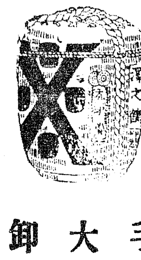
㊞
東京建物株式會社派出所
資本金五百萬圓
本店 東京市日本橋區呉服町
一 土地建物抵當貸附
一 月賦償却建物建築
京城旭町二丁目
電話一一六八番

天下一品


品質の優秀を以て終始一貫するは我白鶴印の本領也
一度御使用あらば他酒を顧るの餘地あらざるべし
特約店
京城本町
前田酒店
電二三七番
田中支店
電七六四番
釀造元
嘉納合名會社
兵庫縣御影町

算盤粟洋蠟燭發賣
貳匁物
四匁物
五匁物
八匁物
六オンス
七オンス
八オンス
九オンス
仁川松阪町二丁目
朝鮮洋蠟燭製造場
電話三一四番
△原料精撰
△製造精撰
仁川販賣店
河野本店
貞安商店
赤松商店
鬼頭商店
鈴木商店
玉植商店
南方商店
△京城其他要所には特約販賣店あり

板硝子厚鏡一式
ペンキ材料
建築用ペンキ一式
其他塗物
硝子切嵌 め同パテ詰め
京城本町六丁目五九番戸
小田商店販賣部
電話四八六番
京城本町六丁目六一番戸
同 工業部
取次電話四八六番

高等清酒
サワノツル
發賣開始
攝津灘新在家

石崎合資會社釀造
一手大卸賣
仁川本町
河野本店
電話（二八）番

商品目錄
◎活動寫眞器械◎幻燈器械
◎内外フイルム◎幻燈畫
◎輕便活動寫眞器◎カーバイト
▲其他日鮮人向實用品販賣
▲東京鶴淵幻燈舖京城代理店
今般新築中の處落成致十一月十五日より開店仕候に付御用命の程奉願上候
京城黃金町三番地
金原商會販賣部
電話一四三四番
振替口座京城七四九番

英國製
SWEET HOME BIRMINGHAM ENGLAND
直輸入新荷着
車體堅牢にして優美
スヰートホーム號
歐米各國自轉車直輸入商
京城本町二丁目
鐵居商店自轉車部
（電話四八〇番略號オ）

日本音譜 朝鮮音譜 各種品揃
音譜目錄無代進呈
地方の御注文は振替口座又は引換小包にて御取計可仕候

大聲蓄音器
日本蓄音器商會
朝鮮總代理店
歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商
京城本町
辻屋
電話二四八番
振替口座八七番

効能ある温泉
鐵冷温泉
旅館直に溜客居貸
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行北横手）
廣安喜次郎
電話一四一一番

優等清酒


釀造販賣元
仁川港
吉金酒店
（電話七六四番）

●新荷着
●各火鉢 ●帳簞笥 ●膳戸棚
●鏡台 ●針差 ●鐵金庫
●テーブル椅子机
家具、漆器、唐木製品、諸金物類、柳行李、諸荒物類
其他日用世帶道具一式
弊店は總て内地製造工場と直接特約致居候へば非常なる廉價にて小賣も卸直を以て御責需に應可申候間多少共御試買之程願上候
仁川港新町一丁目（西北角）
津田兄弟屋
電話七六九番
振替口座京城三八二番

◎誠ハ弊店ノ主義也


釀造元
仁川港宮町三丁目
深見勝三郎
電話二四八番 電信略號（フ）

弊館には夜警の設備有り
陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水産組合指定旅館
第一各保險會社指定旅館
御客樣の安全此の上なし
仁川港
旭屋旅館
電話二五一

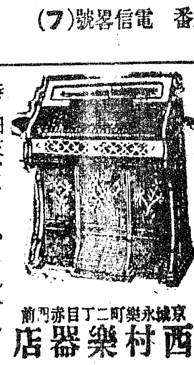
M.C.C.
土耳古卷紙
モンシー
專賣局定價は百本に付金九圓拾錢なるも朝鮮内は大安賣
京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

◎新荷着


▲銘茶、鰹節、東京海苔
右新製品卸小賣共大勉强可仕候間御注文願上候
卸小賣商
仁川宮町
青島商店
電話七〇九番
振替京城六〇番



四季のひきかぜ、はやりかぜ、ねつ痛一切づつうの良藥
發賣元 京都市三条…
川杉資善堂
藥價 二日分 金拾五錢 五日分 金廿五錢
代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
電話一〇六八番 九〇四番
振替口座京城十六番

特約販賣品目
舶來ピアノ、オルガン
西川ピアノ、オルガン
辻ピアノ、オルガン
鈴木ヴアイオリン、鈴琴
洋樂器各種
定價表御入用の方へは進呈仕候

京城永樂町二丁目赤門前
西村樂器店

㊇
公州 芙江間定期出帆
芙江發毎日午後一時四十分公州着後六時
公州發毎日午前七時芙江着後四時半
御客樣の御乘用として新造船内には雜誌新聞將棋等の備付あり
京釜線芙江驛前
中條運送芙江支店

キ
十一月中 滊船出帆廣告
天草丸 …
…
仁川本町四丁目電話一七三番七一〇
合資會社秋田商會船舶部